

2026 年 9 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社 TAKARA & COMPANY
代表者名 代表取締役社長 白井 恒太
(コード番号 7921 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員総務部担当 中込 克二
(TEL. 03-3971-3260)

宝印刷、アスエネと業務提携し、
上場企業の SSBJ 対応に向けたサステナビリティ開示支援を強化
「ASUENE」と「WizLabo Synapse」を API 連携し、CO2 排出量データの
算定・管理から開示資料作成に向けた情報整理までを効率化

TAKARA & CO（東証プライム・証券コード 7921）グループで、IR やディスクロージャー関連のサービスを提供する宝印刷株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：白井恒太）は、アスエネ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：西和田 浩平）と、上場企業の SSBJ 対応およびサステナビリティ情報開示の支援に向けた業務提携を開始しましたので、お知らせします。

詳細につきましては、以下の添付書類をご覧ください。

以上

2026 年 9 月 3 日

各 位

宝 印 刷 株 式 会 社
代表取締役社長 白井 恒太

宝印刷、アスエネと業務提携し、
上場企業の SSBJ 対応に向けたサステナビリティ開示支援を強化
「ASUENE」と「WizLabo Synapse」を API 連携し、CO2 排出量データの
算定・管理から開示資料作成に向けた情報整理までを効率化

TAKARA & CO（東証プライム・証券コード 7921）グループで、IR やディスクロージャー関連のサービスを提供する宝印刷株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：白井 恒太、以下「当社」）は、アスエネ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：西和田 浩平、以下「アスエネ」）と、上場企業の SSBJ 対応およびサステナビリティ情報開示の支援に向けた業務提携を開始しました。



ASUENE

本提携では、当社が提供する統合型ビジネスレポートシステム「WizLabo Synapse」と、アスエネが提供する AI サステナビリティ統合プラットフォーム「ASUENE」を API 連携します。

これにより、企業は「ASUENE」で収集・算定した CO2 排出量データを、「WizLabo Synapse」上で財務情報や開示関連情報とあわせて整理できるようになります。両社は本提携を通じて、SSBJ 対応や統合報告書、IR レポートなどの作成に向けた情報収集・整理の負荷を軽減し、財務情報と非財務情報をつなげた開示体制の構築を支援します。

1. 業務提携の背景

上場企業では、SSBJ 基準への対応を見据え、財務情報だけでなく、CO2 排出量をはじめとする非財務情報を適切に管理し、統合報告書や IR レポートなどの開示資料に反映する必要性が高まっています。非財務情報にあたる CO2 排出量などの算定だけでなく、財務情報や開示資料作成の工程と接続し、継続的に管理できる体制が重要になります。

一方で、開示に必要な情報は社内のさまざまな場所に分散しています。財務情報は会計システムで管理され、CO2 排出量やエネルギー使用量などの環境データは各部門や拠点が保有しています。さらに、開示に必要な情報が Excel をはじめとするさまざまな形式のファイルで管理されているケースもあります。

そのため、IR や経営企画、サステナビリティなど各部署は、開示資料を作成するたびに、社内の複数部門から必要な情報を集め、内容を確認し、開示に使いやすい形に整える必要があります。CO2 排出量の算定を適切に進めているにも関わらず、そのデータが開示資料を作成する別のシステムに自動で反映されない場合、改めて集計、転記、部門間の確認作業が発生するため、担当部門の作業負荷が大きくなります。

当社は、有価証券報告書をはじめとした法定開示や統合報告書、IR レポートなど、上場企業の情報開示支援に強みを持っています。アスエネは、「ASUENE」を通じて、CO2 排出量をはじめとする非財務情報の収集・算定・管理を支援してきました。両社はそれぞれの強みを組み合わせ、上場企業のサステナビリティ情報開示における実務負荷の軽減と、開示体制の整備を支援します。

2. 業務提携内容

本提携では、「ASUENE」と「WizLabo Synapse」を API 連携します。

「ASUENE」で収集・算定した CO2 排出量データを「WizLabo Synapse」に連携することで、企業は CO2 排出量データを開示資料作成に活用しやすい形で管理できます。

「WizLabo Synapse」上では、財務情報と非財務情報をあわせて整理し、法定開示書類や統合報告書、IR レポートなどの作成に必要な情報として活用できます。

これにより、企業は CO2 排出量データを算定するだけでなく、開示資料作成の工程で活用しやすくなります。IR 部門や経営企画部門、サステナビリティ部門は、環境データの再集計や転記、部門間の確認作業を減らし、開示に必要な情報を継続的に管理しやすくなります。

また、財務情報と非財務情報を接続して管理することで、SSBJ 対応に向けて、開示に必要な情報を確認しやすい体制づくりを支援します。企業は、法定開示書類や統合報告書、IR レポートなどの作成時だけでなく、平時から社内データを整理・確認できる基盤を整えることができます。

3. 今後の展望

当社とアスエネは、システム連携に加え、営業・マーケティング面でも連携します。両社の顧客基盤と専門性を活用し、上場企業に対する SSBJ 対応およびサステナビリティ情報開示の支援体制を強化します。

まずは、CO2 排出量を中心とした環境領域のデータ連携を進めます。今後は、人的資本をはじめとする社会領域や、ガバナンス領域の情報連携も視野に入れ、財務情報と非財務情報を統合して管理できる仕組みの拡充を検討します。

【宝印刷について】

ディスクロージャーおよび IR 関連書類の作成支援会社として、創業以来約 70 年に亘り上場企業や IPO 予定会社のお客様の情報開示を支援しております。ディスクロージャーと IR 分野におけるリーディングカンパニーとして長年培った知識・ノウハウを軸にさらに専門性を磨き、お客様の企業 価値拡大に貢献してまいります。

【アスエネについて】

「次世代によりよい世界を。」がミッションの AI サステナビリティ統合カンパニー。

「ASUENE」を起点に、AI 活用による CO2 排出量の算定、ESG 評価、サプライチェーン管理、第三者保証/検証、カーボンクレジット、エネルギーマネジメントなどの AI サステナビリティプロダクトを展開。累計 8 件の M&A を実行、累計資金調達額は 250 億円。米国・欧州・シンガポール・タイ・フィリピンなどグローバルで事業を加速中。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

宝印刷株式会社 総務部（広報担当）

TEL：03-3971-3101

以上